

私達は平和を脅かす
悪と闘う

宇宙の平和を護る機関
「エイジス」



私の名はジャスティスレディ

この星を護るために
遠い宇宙からやってきた



宇宙特級公害害獣
「ドグマ」

宇宙外来生物により
危機に直面している

惑星中を蹂躪し
異常な速度で繁殖する
危険生物

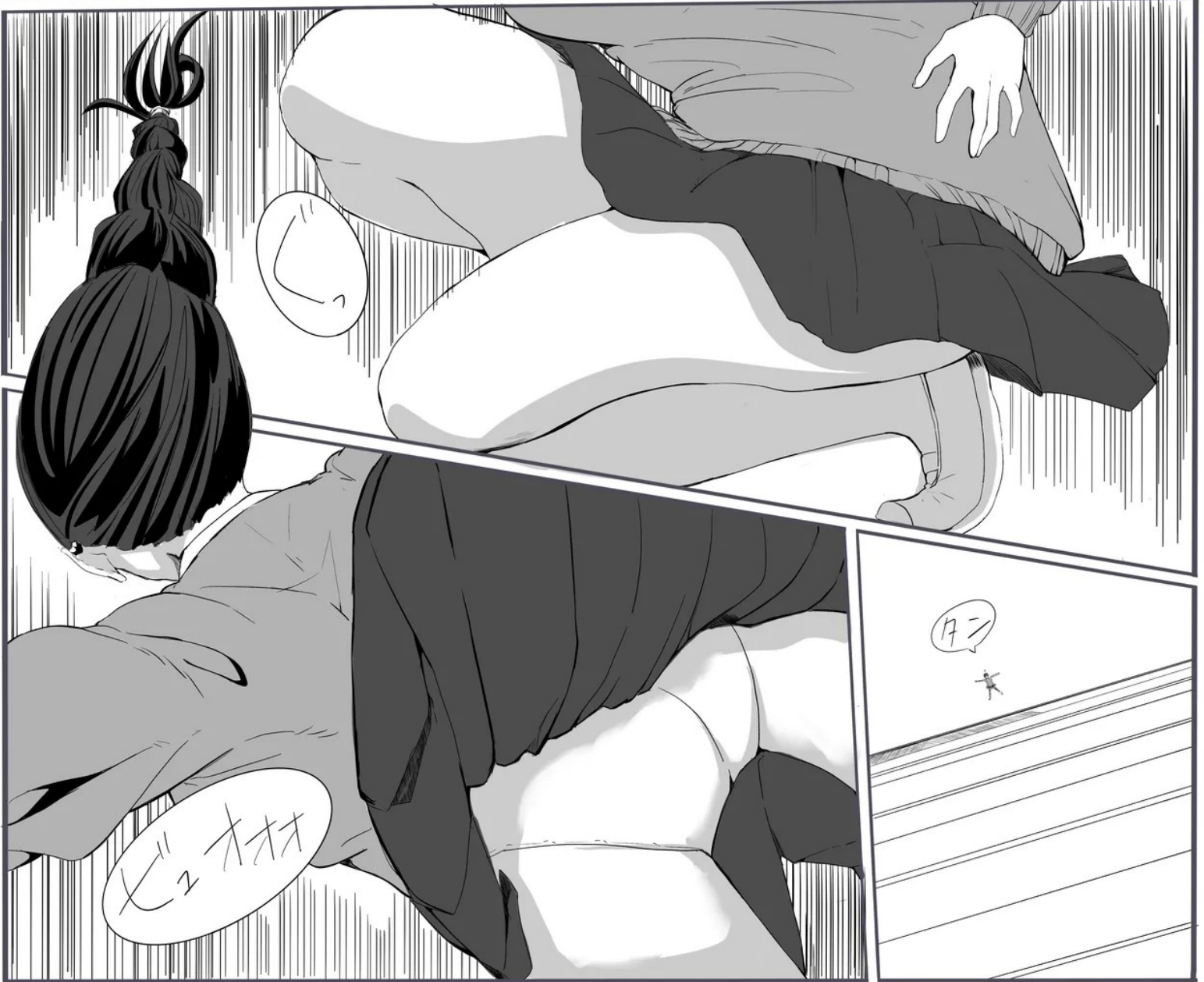
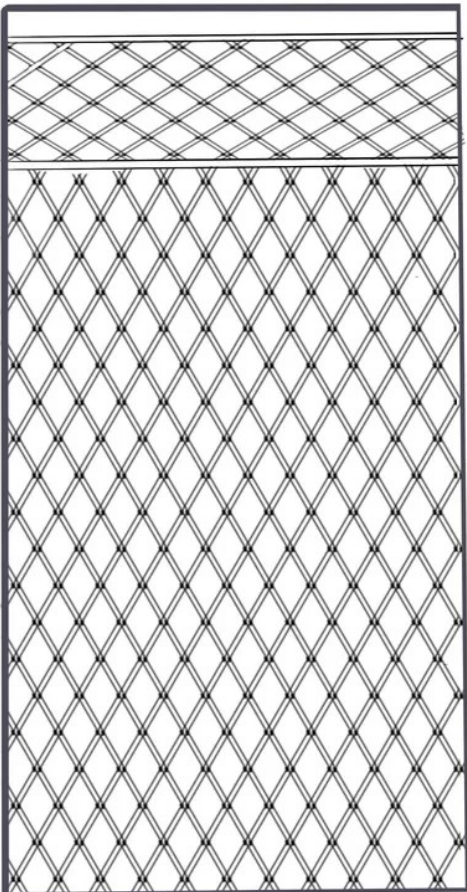


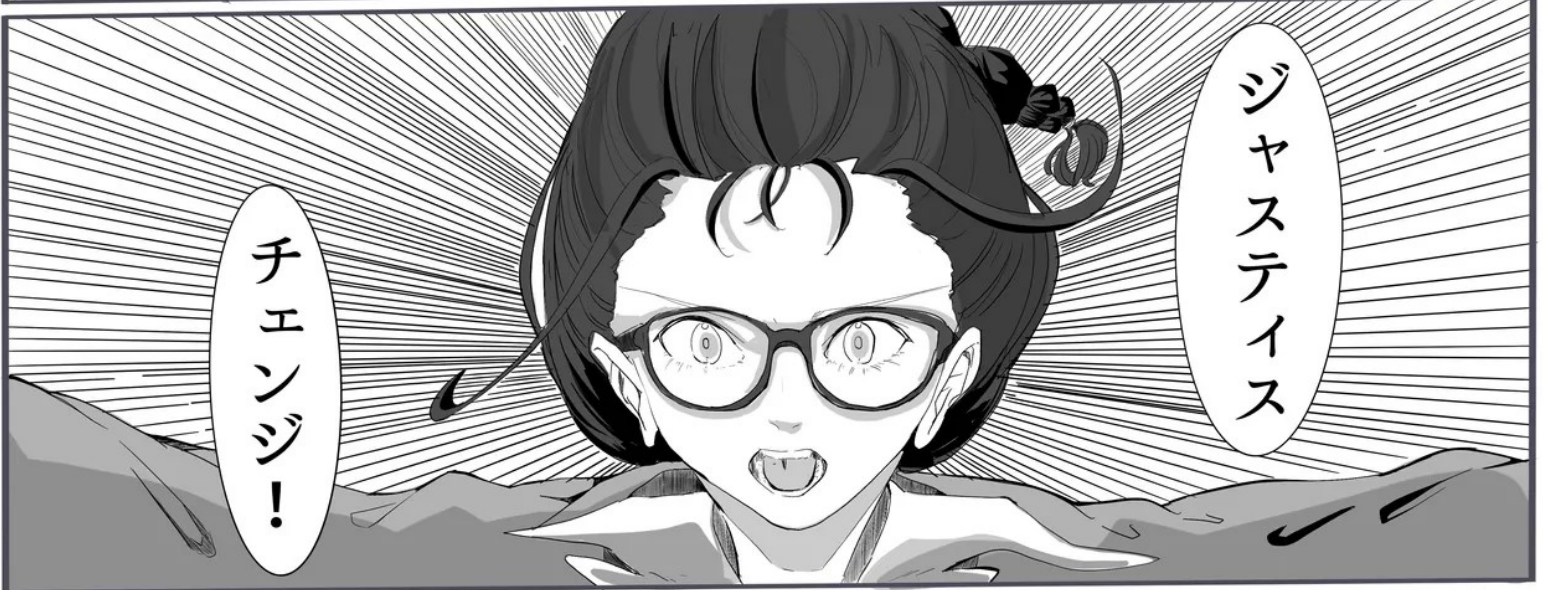
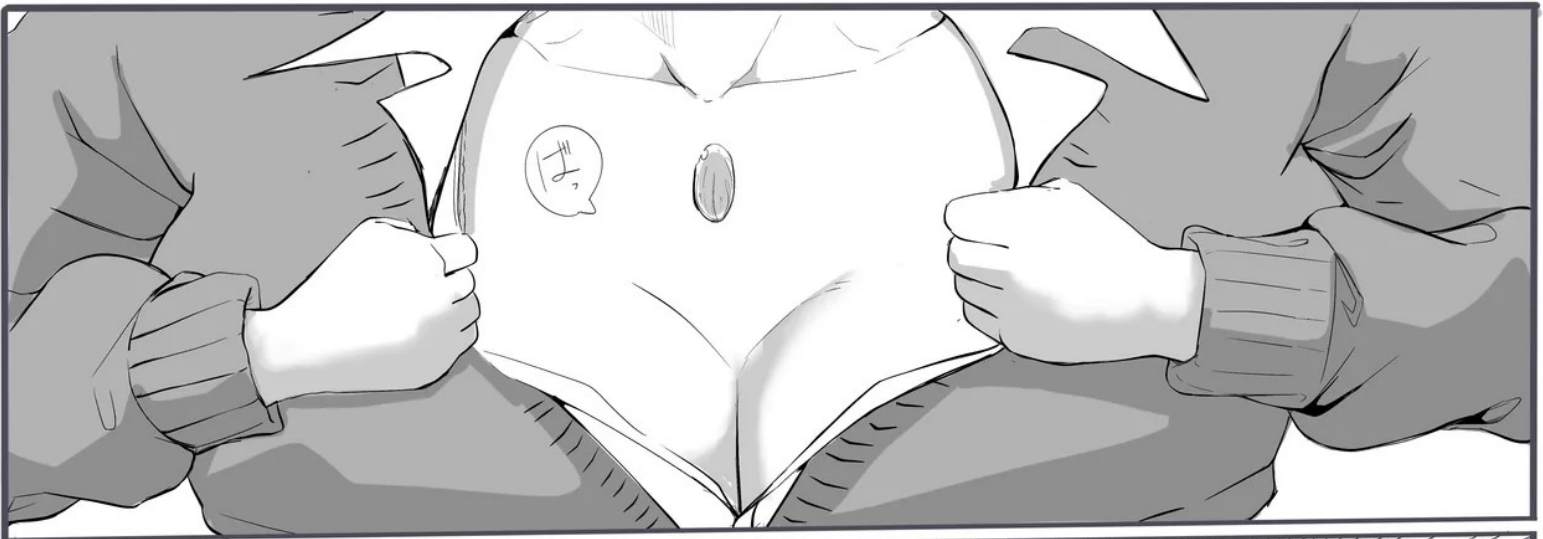
この反応は
「ドグマ」が現れた



行かなくちゃ!

この星の平和は
私が護る





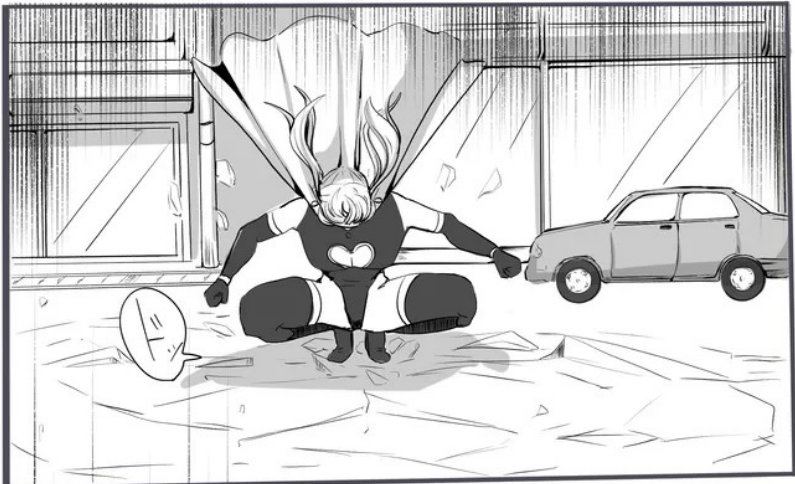


好きにはさせないわの
ドグマあなた達の

ジャステイスレディ!



貴様は



かかってきなさい

さあ



毎度邪魔をしやがって

返り討ちに
してくれる



かかれ! ドグマ兵



ジャステイス

どろっ!?



ぐあっ!

ドゴ

ナツクル!

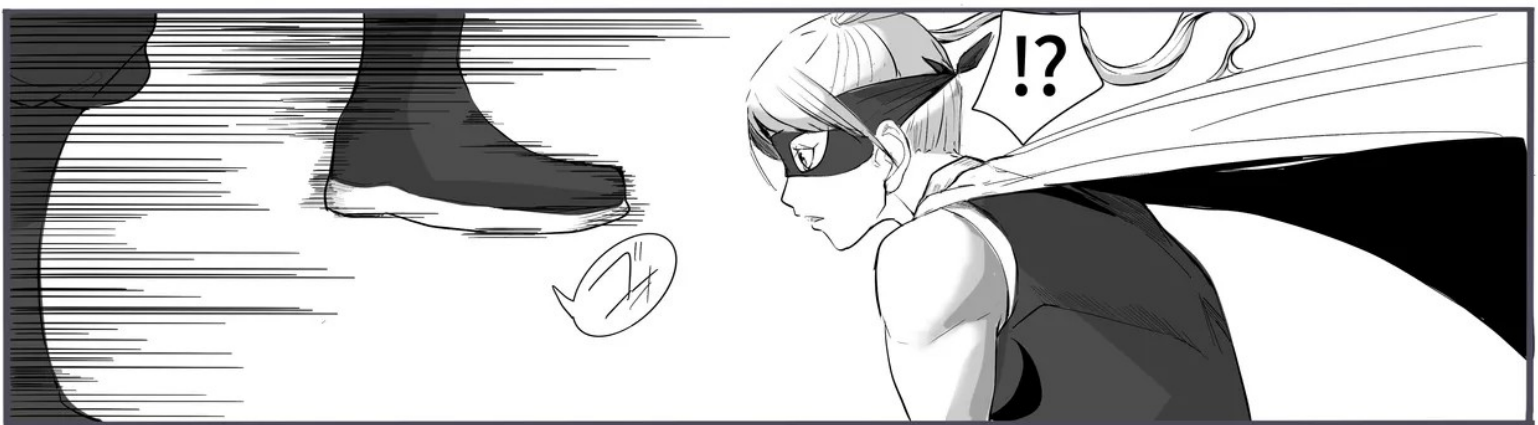
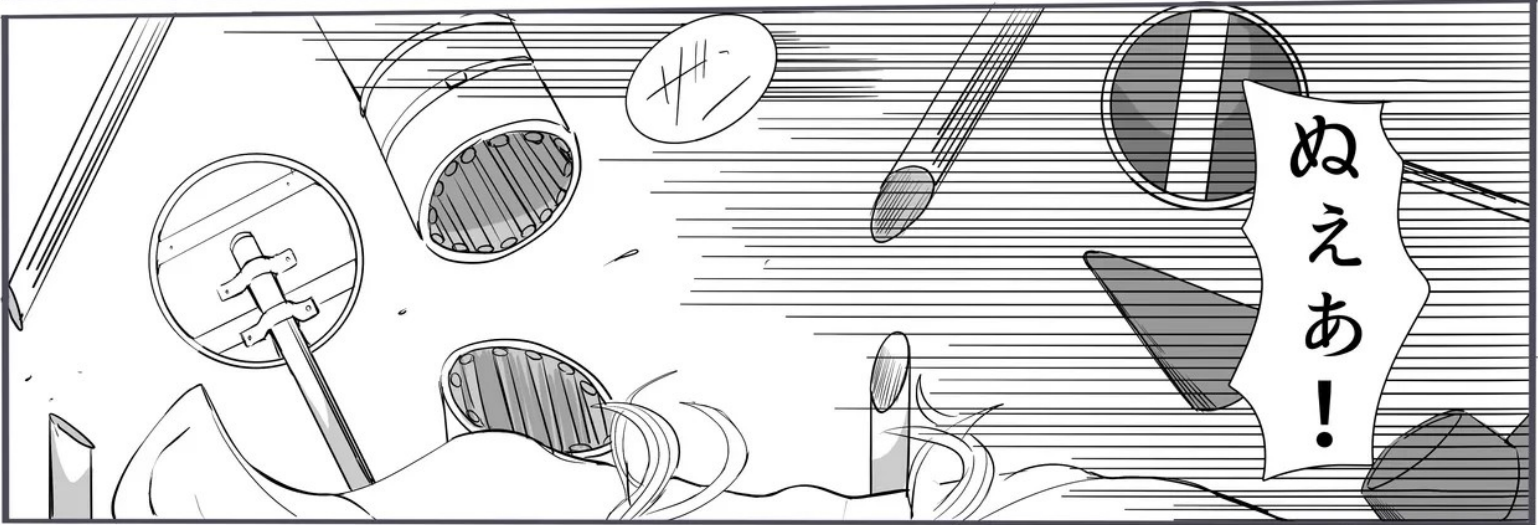
!?

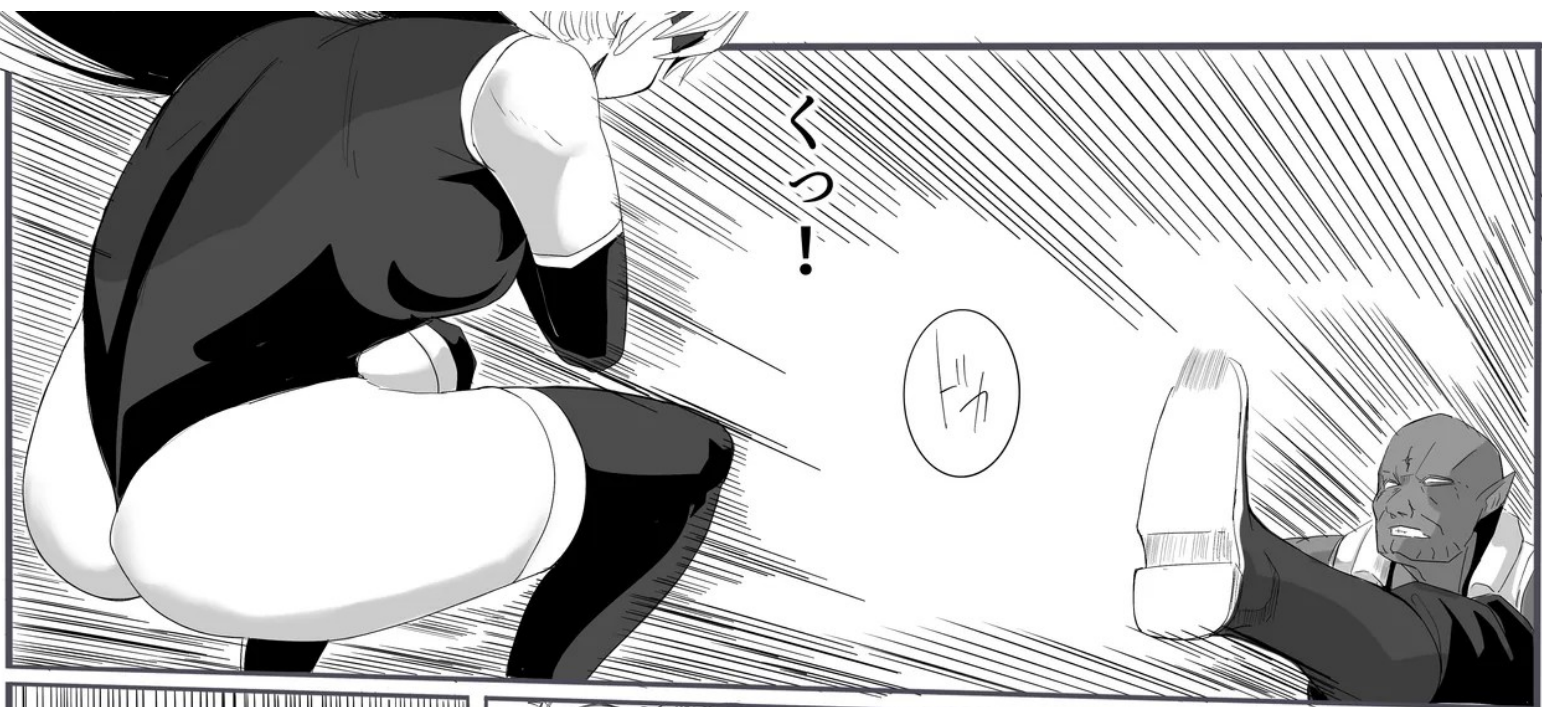
カツ

ドゴ

ぐはっ!

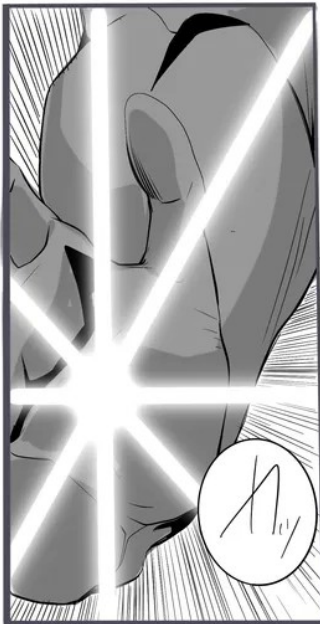
げはっ!







ぐあああ！



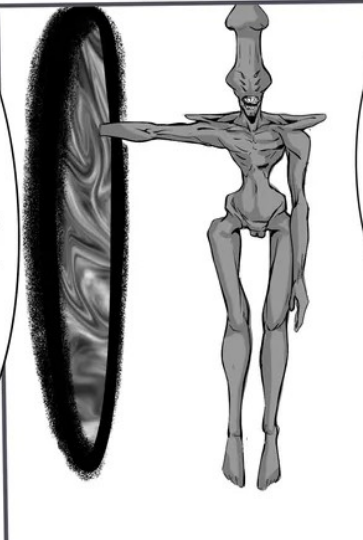
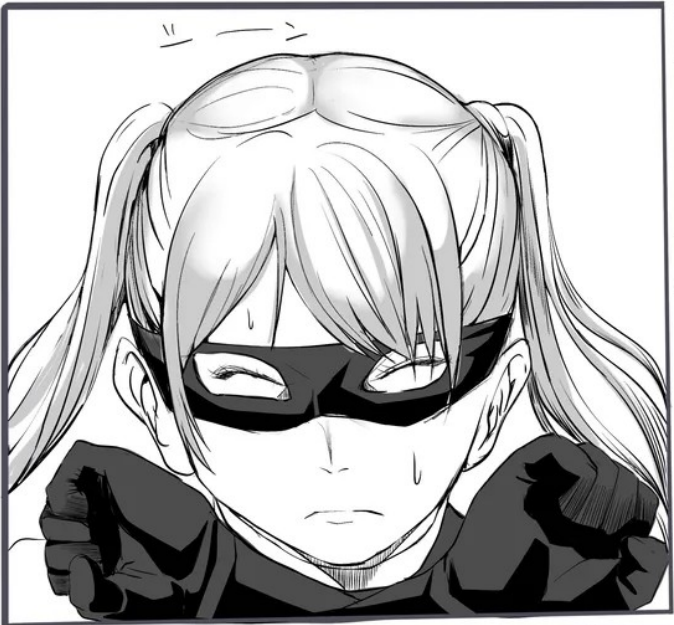
隙を
見せたな
ようやく

新手!?

闘争するものが
最も油断する時



勝利の瞬間は



数日後

お手洗い

くっ

「はっ」
「はっ」

「はっ」
「はっ」

まさかこんな事になる
なんて

身体が熱い...

「はっ」
「はっ」

この為の...

あの攻撃は

「はっ」

性衝動が
おさまらない

「はっ」

手が止まらない

「はっ」

「はっ」

「はっ」

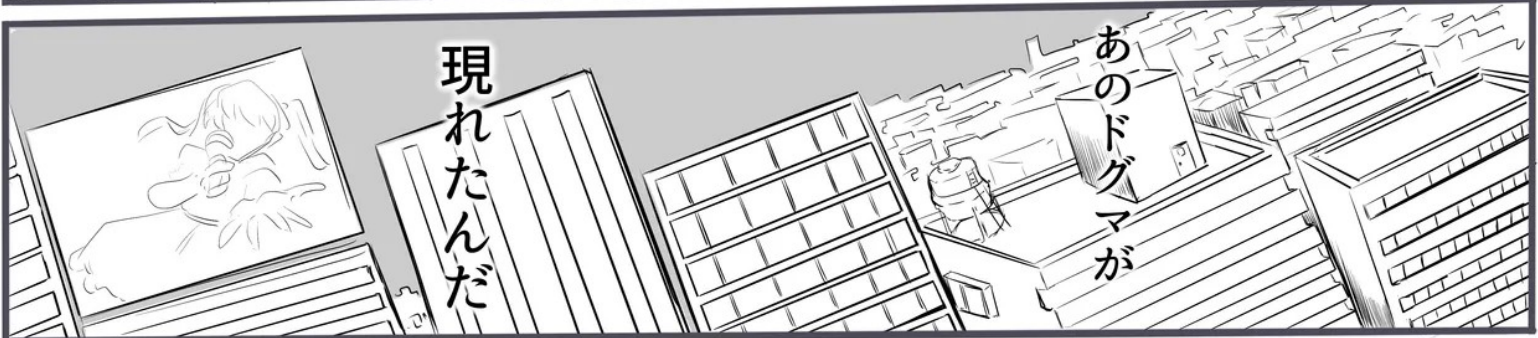
射精る！

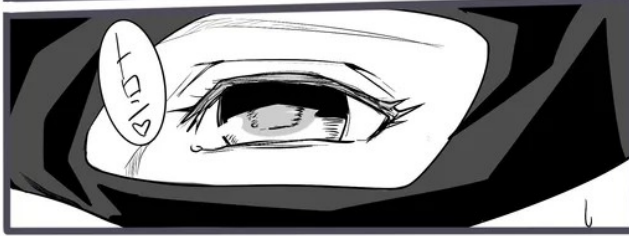
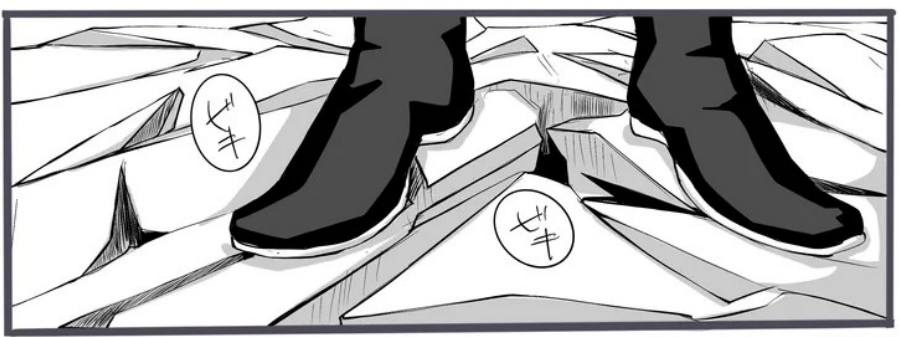


は、早く
なんとかしないと・・・

身体が持たないよお









こゝは・・・

一体



ドグマアジト



んっ



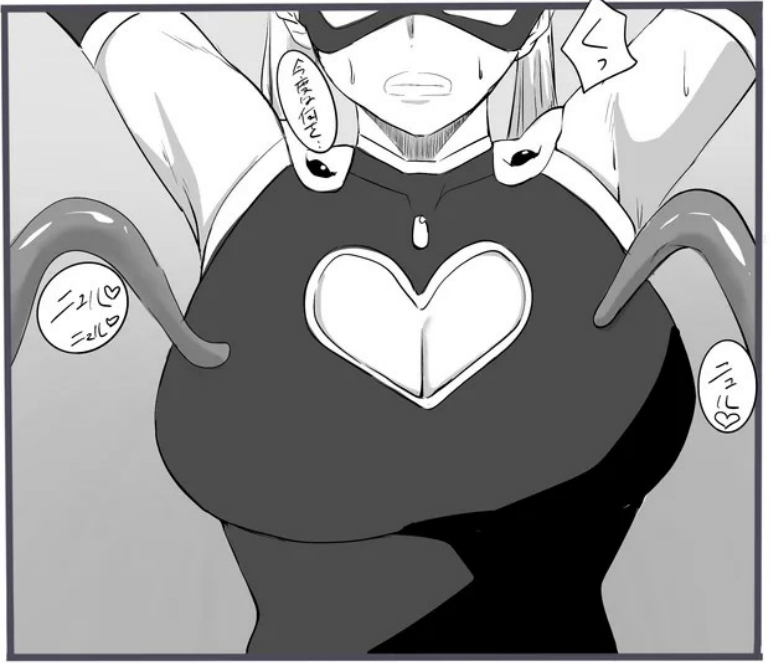
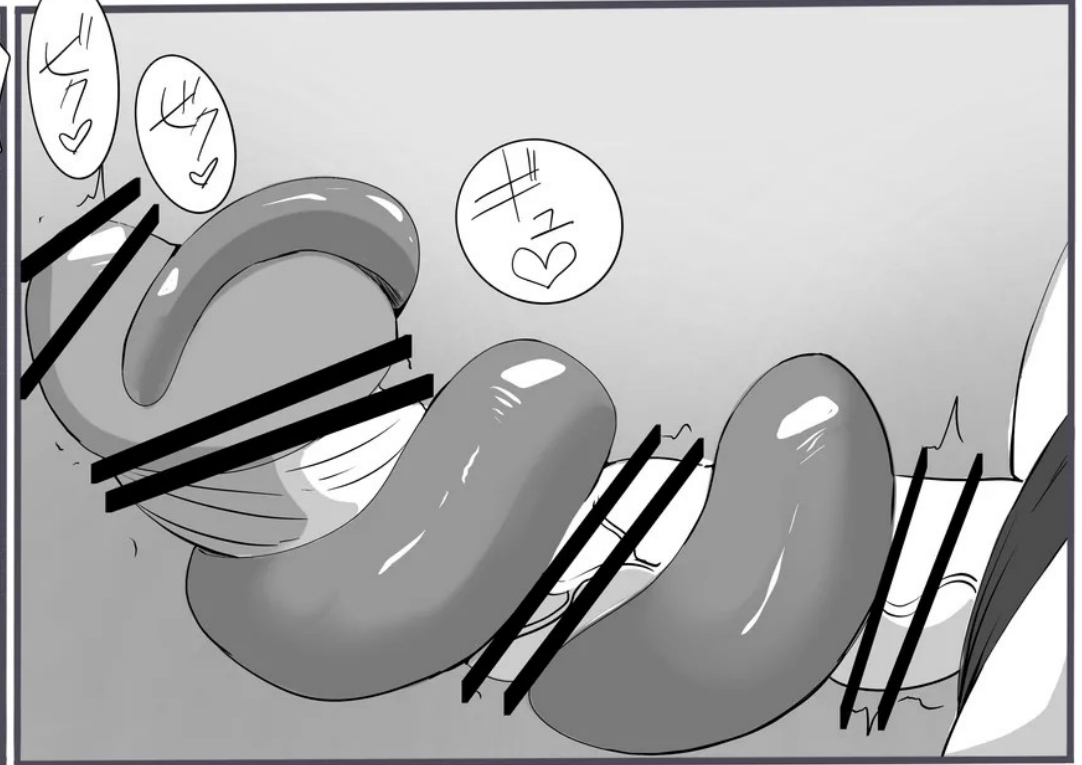
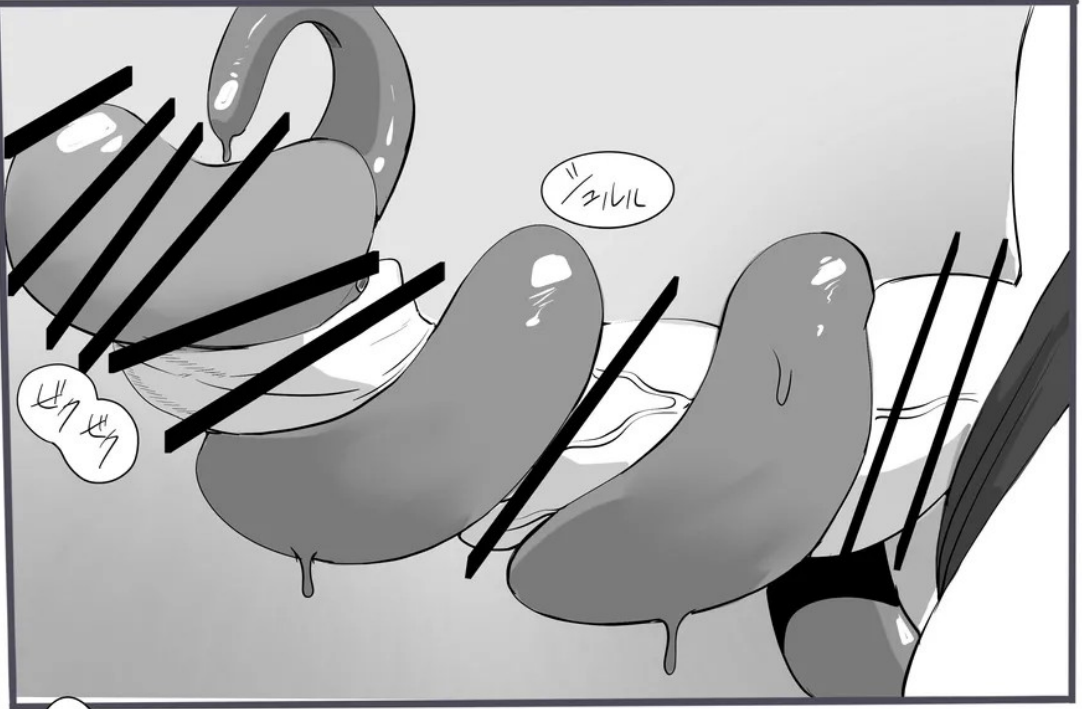
我はキングドグマ

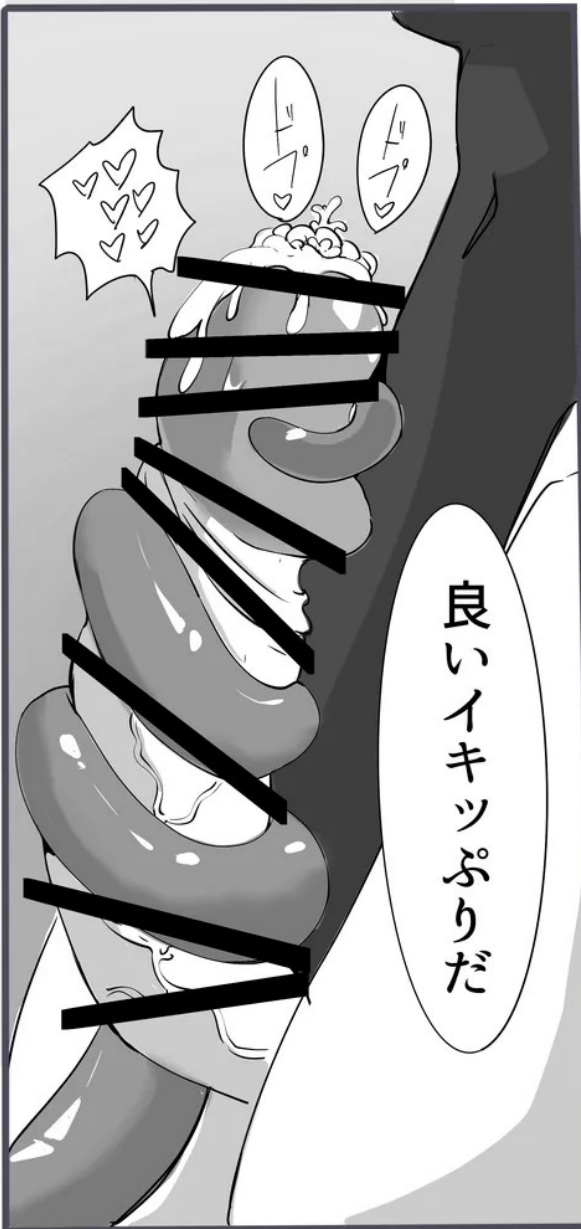
全てのドグマは
我から産まれる



ドグマか!?

目が覚めたか
ジャステイスレディ





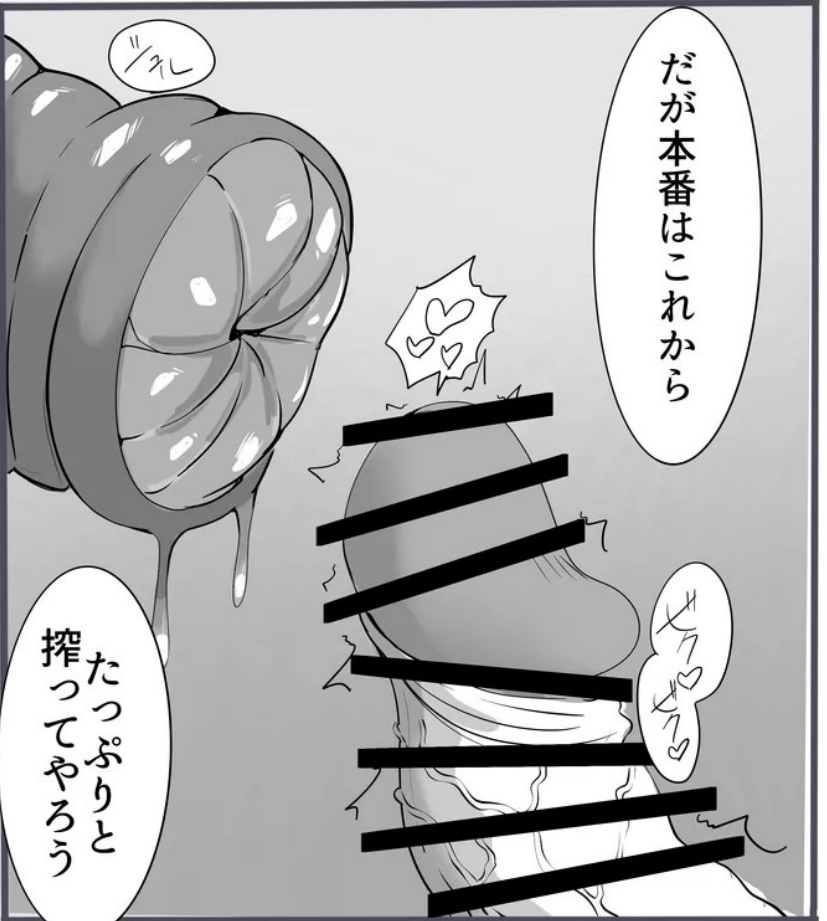
良いイキツぷりだ



イツク!

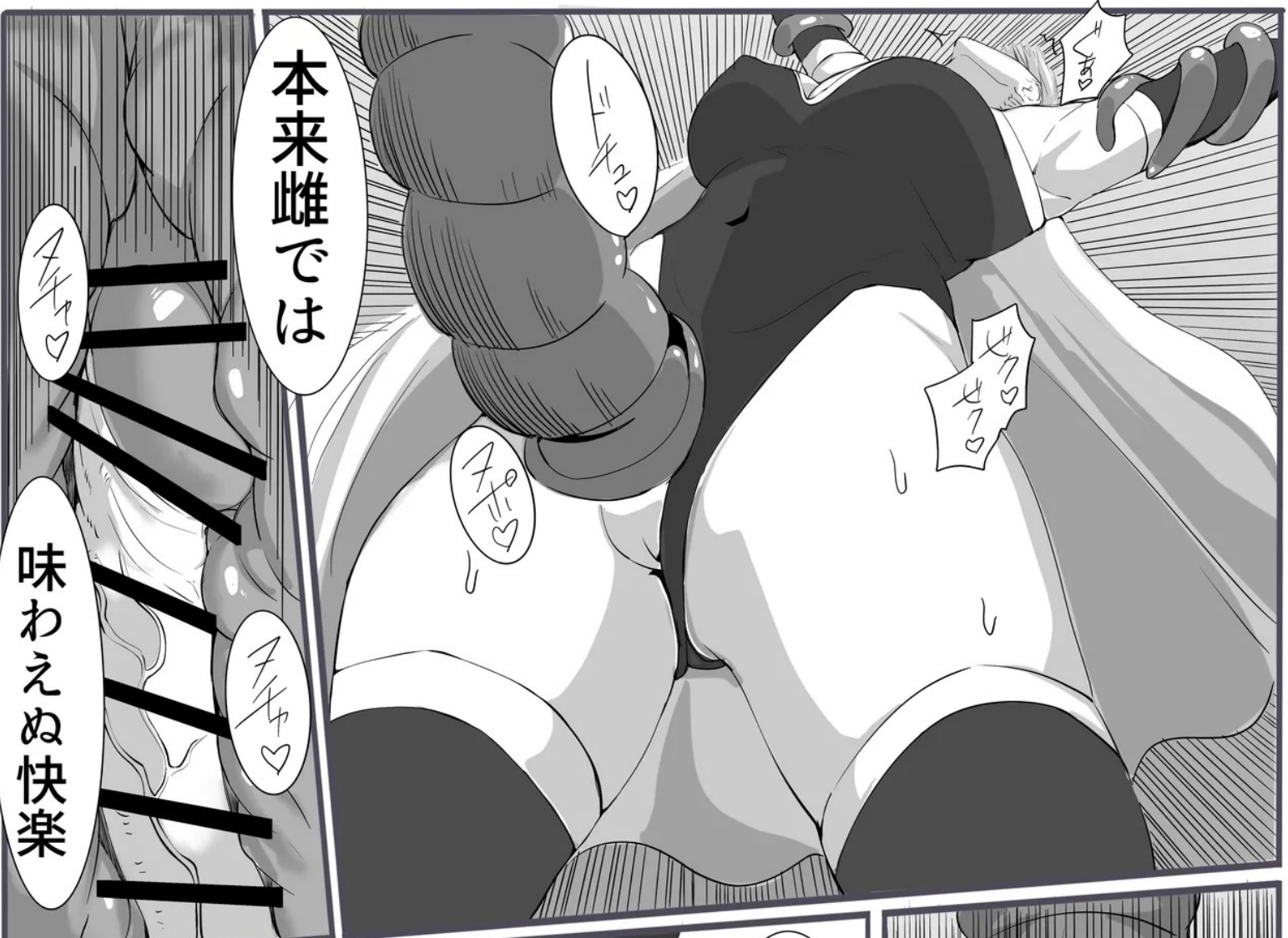


こんな事は私には



だが本番はこれから

たつぷりと搾ってやろう



本来雌では

フキッ♡

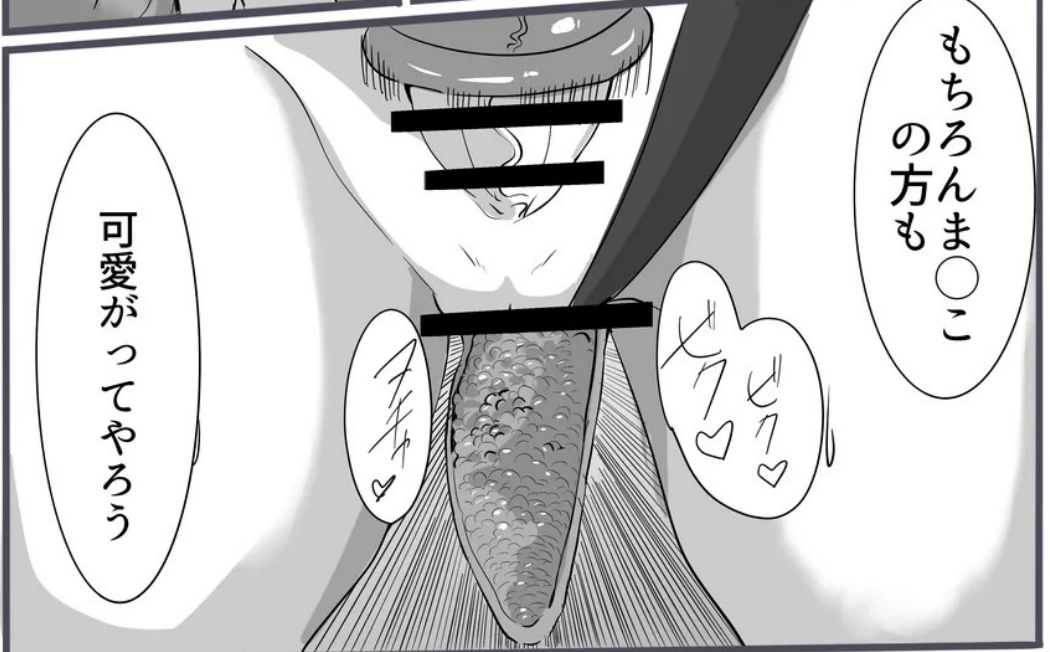
フキッ♡

フキッ♡

フキッ♡
フキッ♡

フキッ♡

味わえぬ快樂



もちろんま〇こ
の方も

可愛がってやろう

フキッ♡
フキッ♡

フキッ♡



素晴らしいものだろう

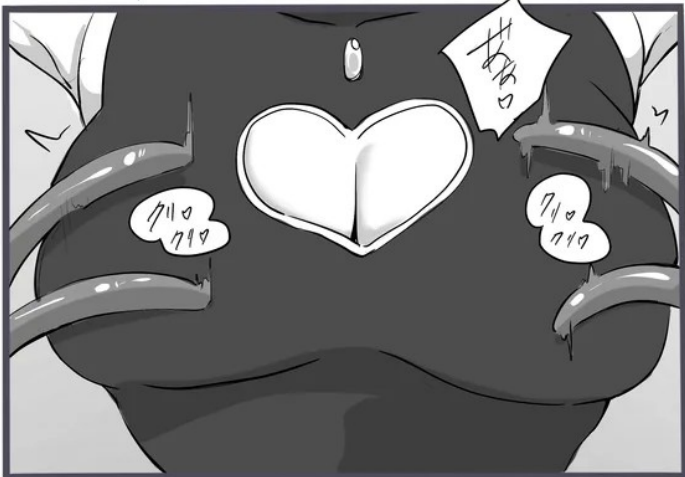
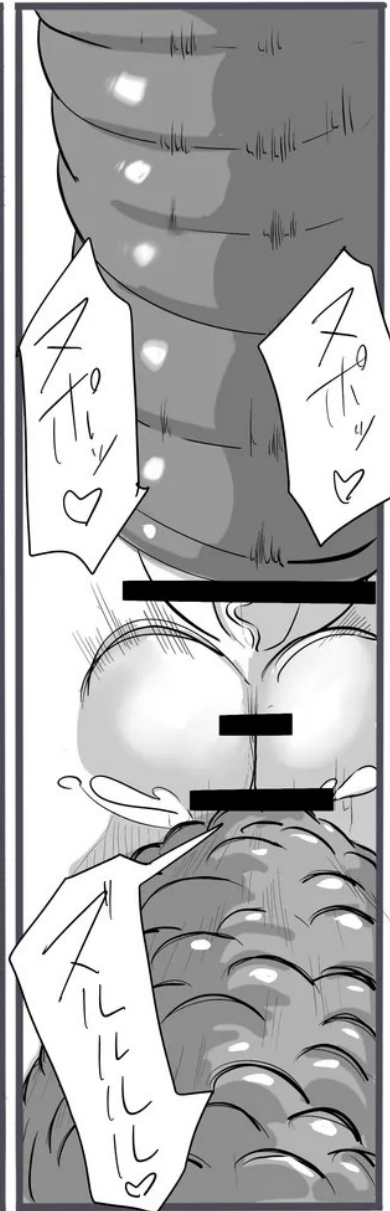
フキッ♡

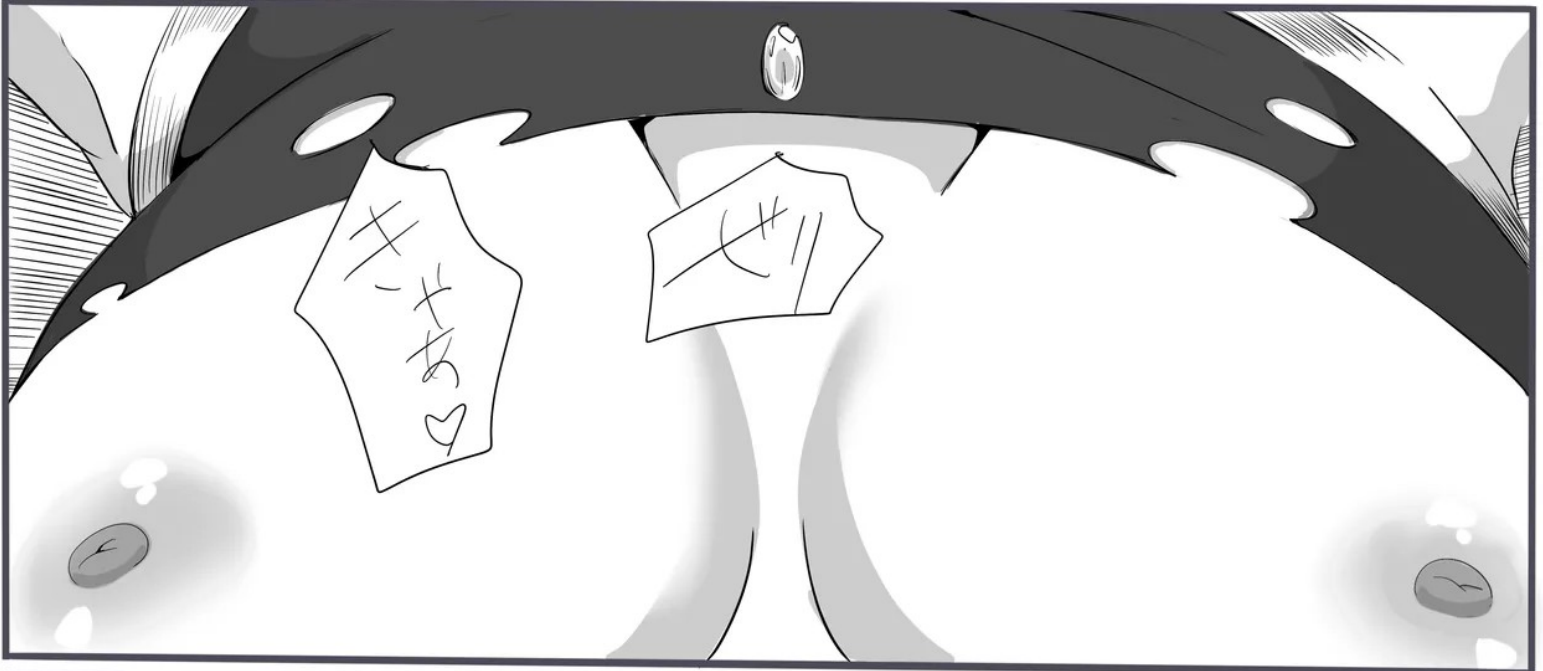
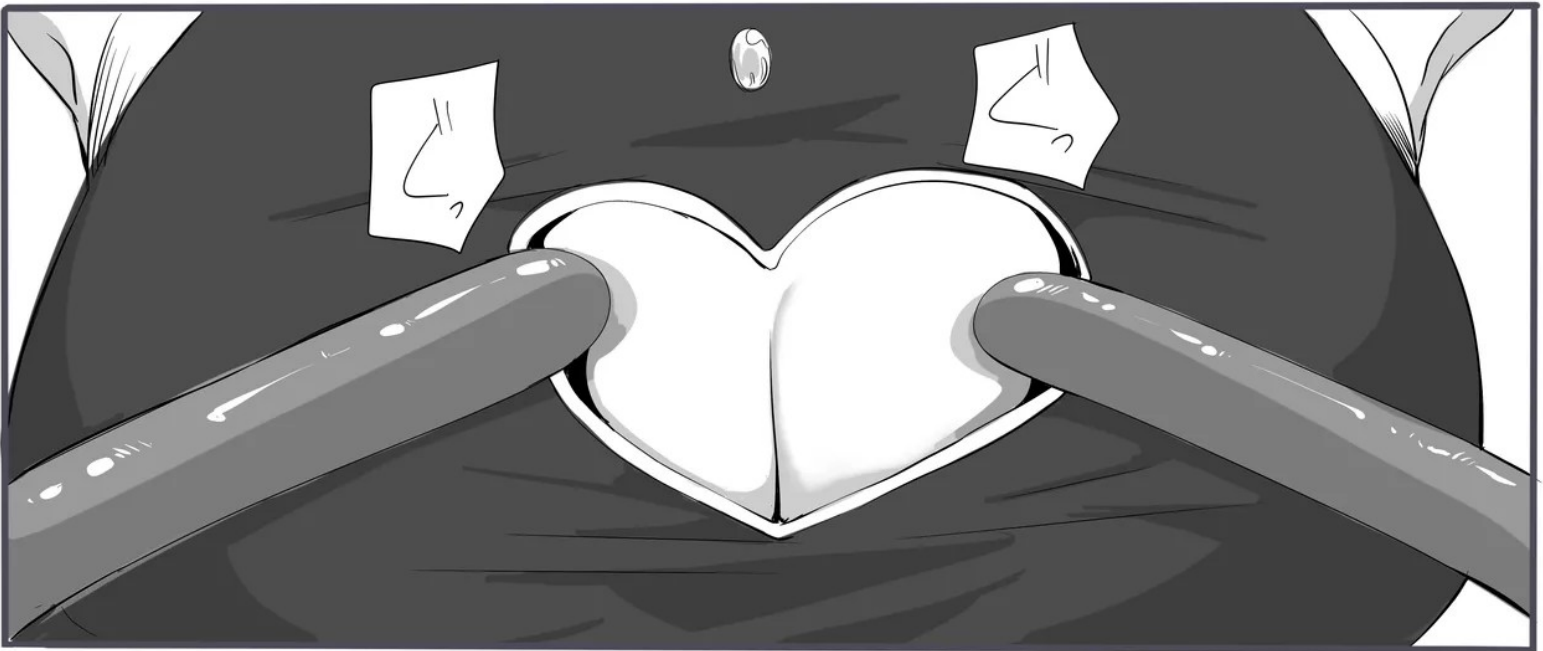
フキッ♡

フキッ♡

フキッ♡









我に痴態を晒すがいい

ジャステイスレディ





ドグマを孕む母体として
活用させて貰う

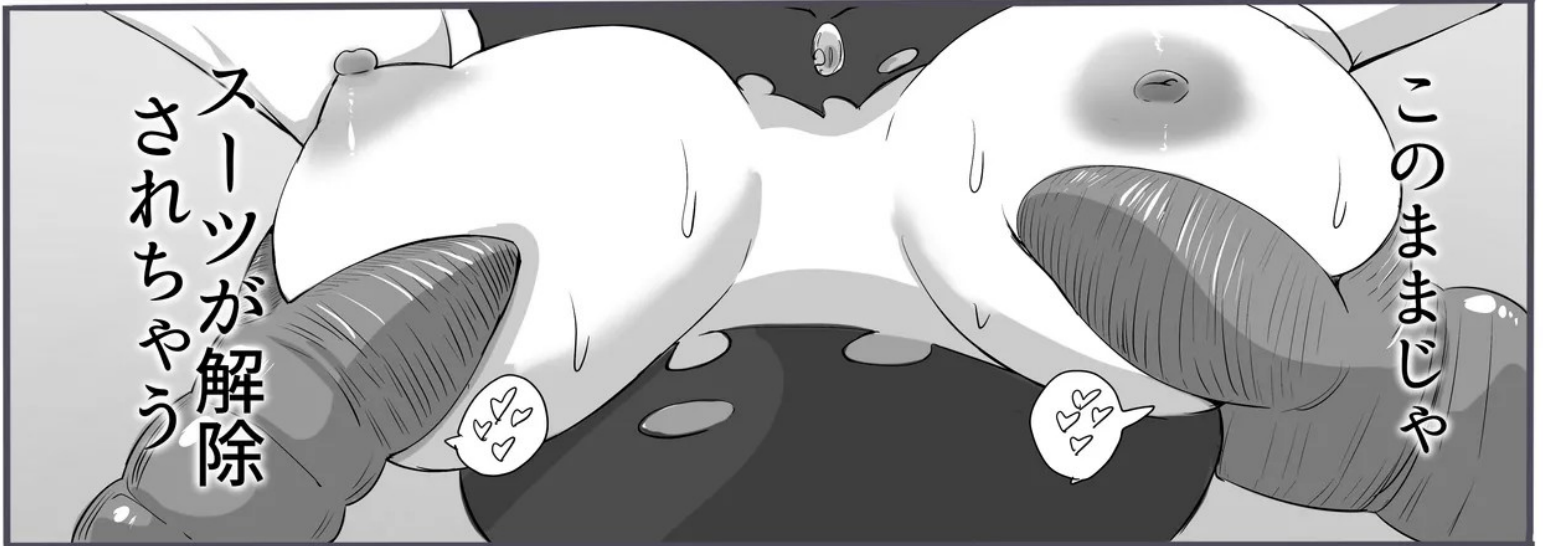
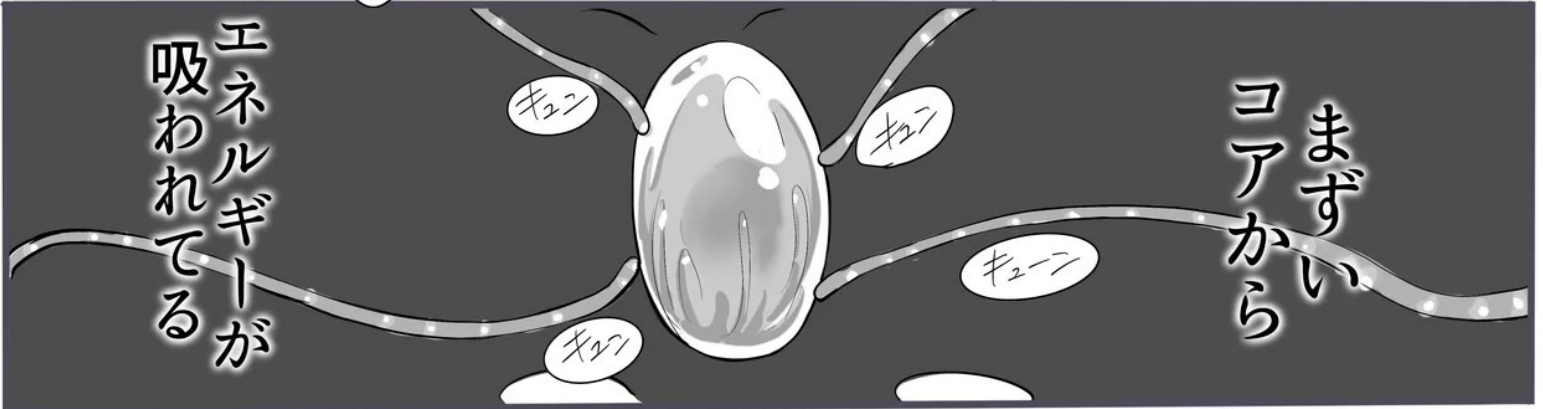
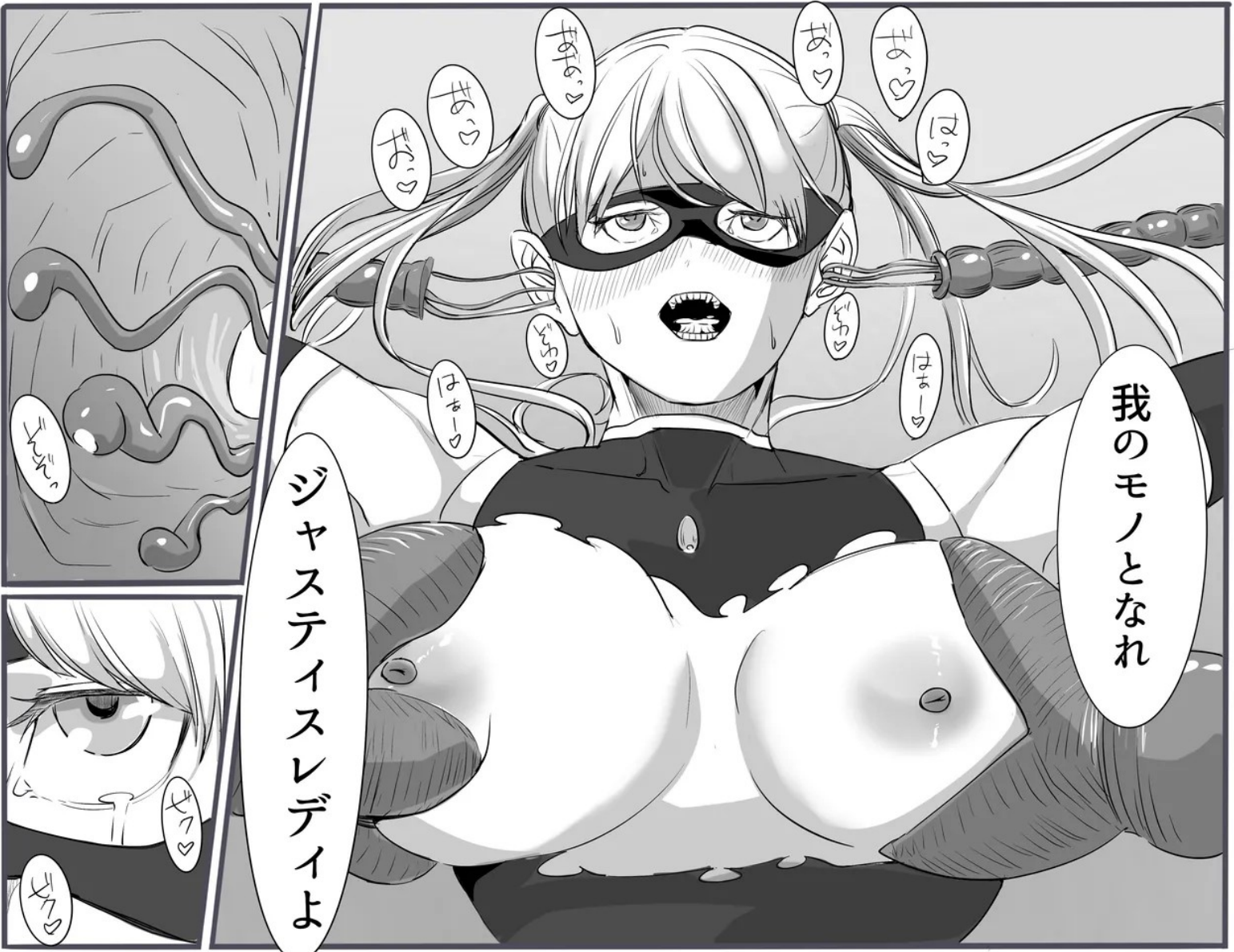


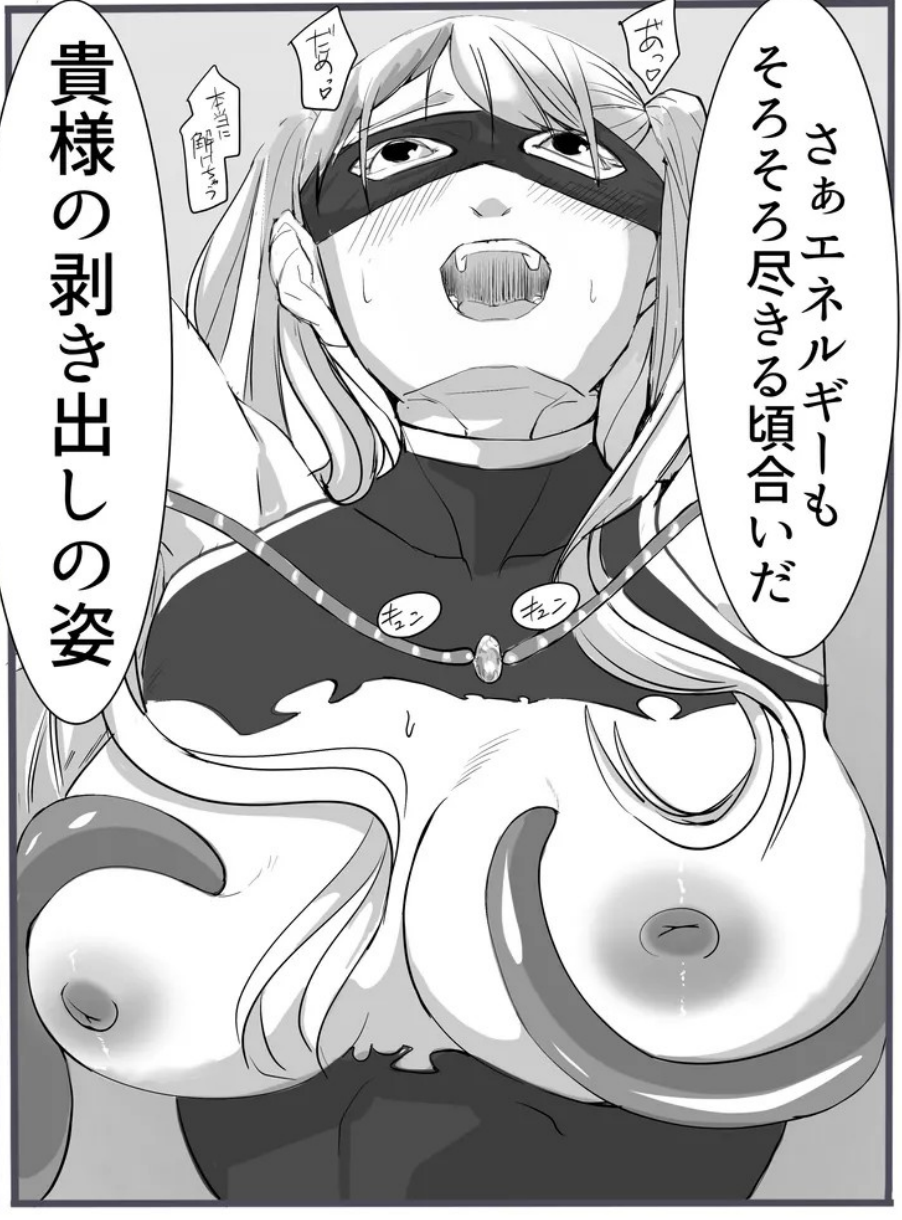
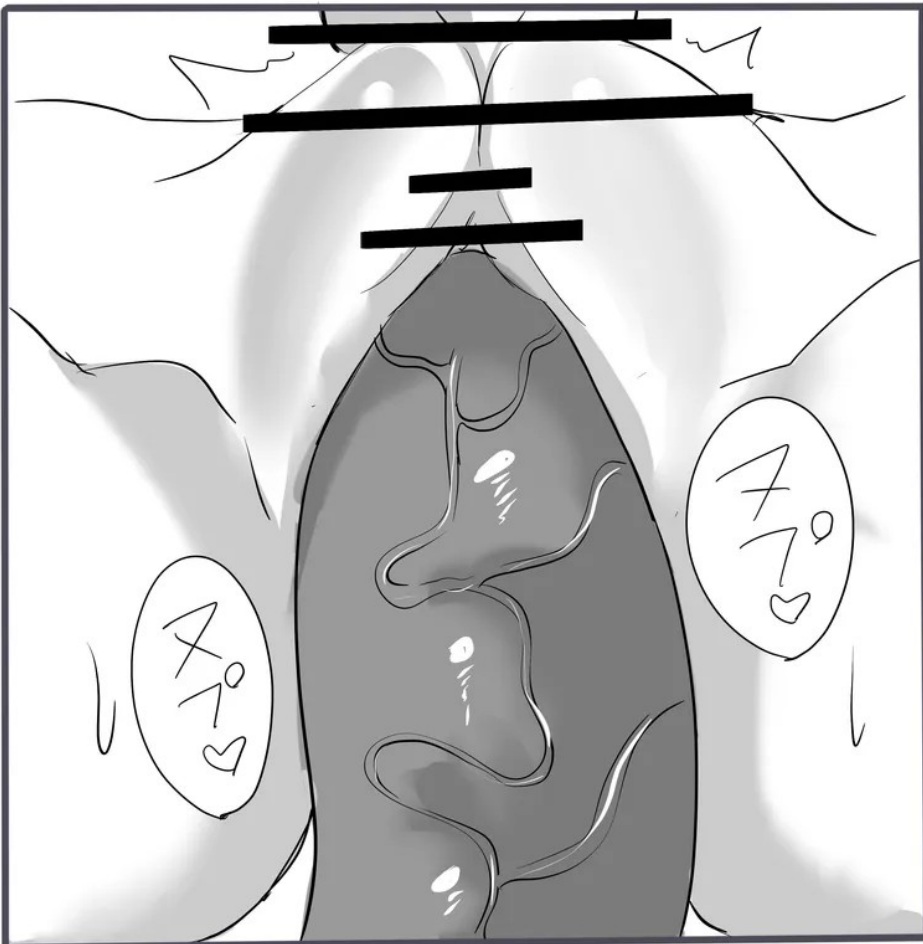
貴様の強靱な肉体

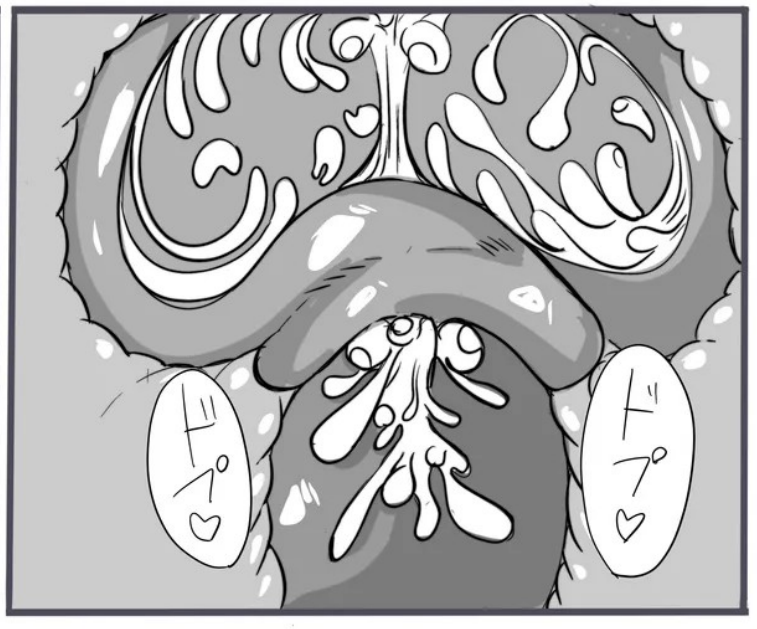


さぞ質の良い
ドグマが産まれる事だろう







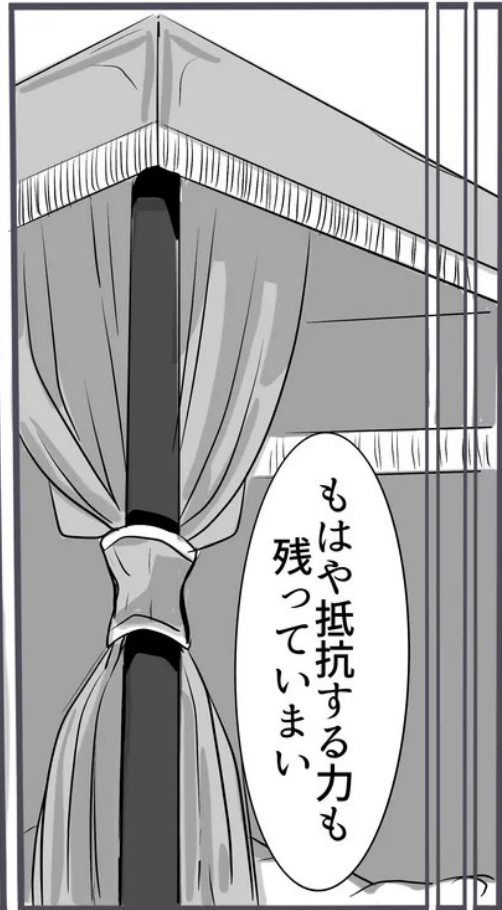




たとえ力を失っても
私はお前達に屈したりしない

ジャステイスレディよ

ギ
ニ



もはや抵抗する力も
残っていない



ジャステイスレディ

覚悟はいいな



まだ心は折れぬか

くっ
そうでなくては
つまらん



私は負けない

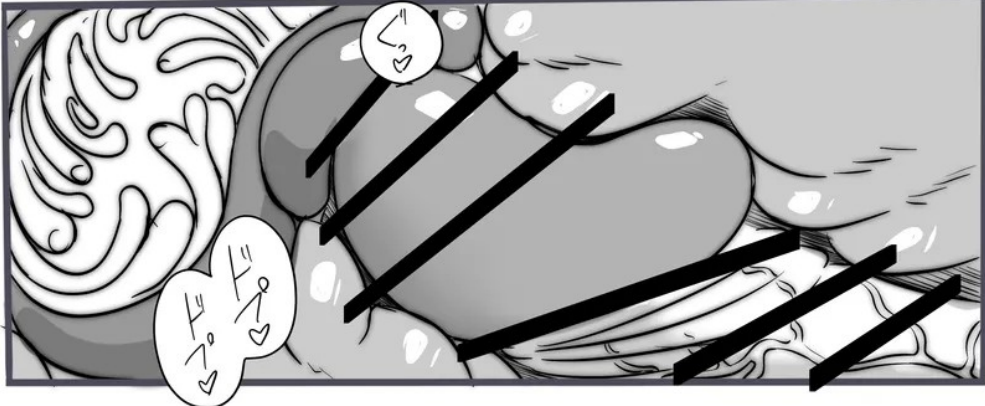
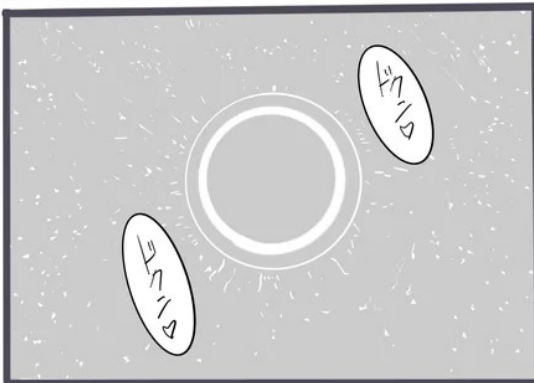
我も剥き出しの姿で
お相手しよう



では

墮ちるがいい
ジャスティスレディ

そしてドグマを孕め！





上手いじゃないか
ジャスティスレディ

優秀な雌だ

しゅわん♡

しゅわん♡

しゅわん♡

しゅわん♡

しゅわん♡

必ず産んでもらうぞ

ドグマを



ドグマに敗北した私は
実験体にされた

ドグマを孕む母体として
肉体を蹂躞された

もはや私に

抵抗する術は無かった



我同胞を

さあ遠慮なく産むがいい



私の躰はドグマに
たっぷりと可愛いがられ
愛され

ドグマを産み続けた

産卵と同時に
躰中にほとぼしる快楽を
感じながら闇に堕ちていった



さあ貴様もドグマ
として

生まれ変わるがいい

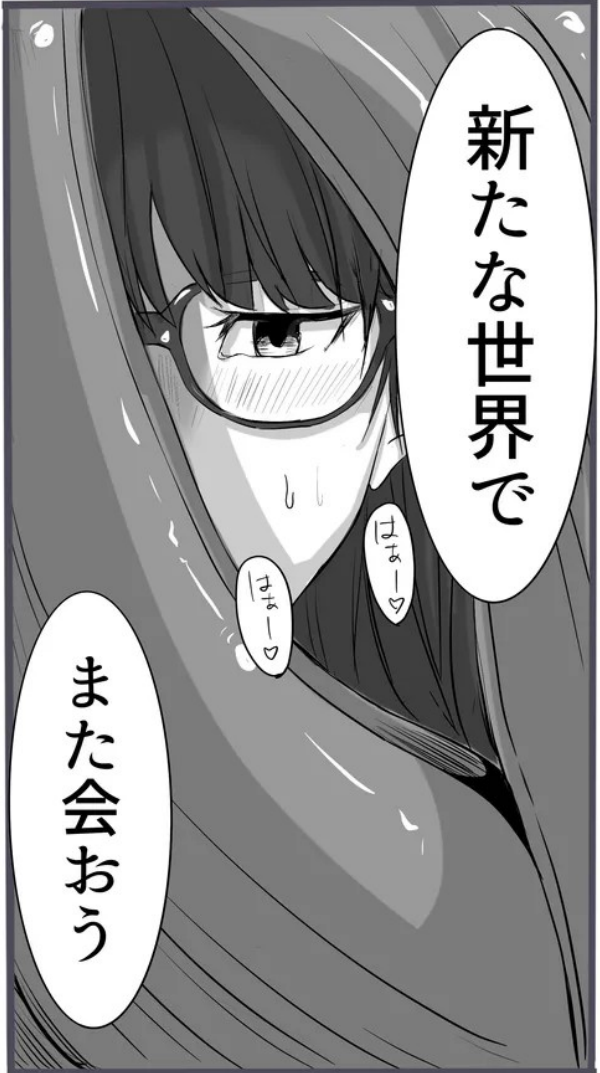


ご苦労だった



ジャステイスレディよ

シメシメ♡



新たな世界で

また会おう

そうして私は

ドグマ
ファントムレディ
として生まれ変わった

肉体も思考も
完全に変わり

快樂の事しか
考えられなかった

正義の過去を忘れ
ドグマの下級兵に
毎晩腰をふる



